

危機管理型水位計の概要

【目的】

洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を開発することで、これまで水位計の無かった河川や地先レベルでのきめ細やかな水位把握が必要な河川への水位計の普及を促進し、水位観測網の充実を図る。

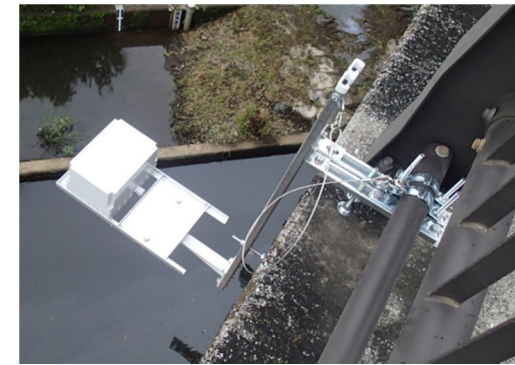
【特徴】

- 長期間メンテナンスフリー（**無給電で5年以上稼働**）
- 省スペース(小型化)（橋梁等へ容易に設置が可能）
- 初期コストの低減
（洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減）
（**水位計本体費用は、100万円/台以下**）
- 維持管理コストの低減
（洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術とあわせ**通信コストを縮減**）

開発された水位計の例



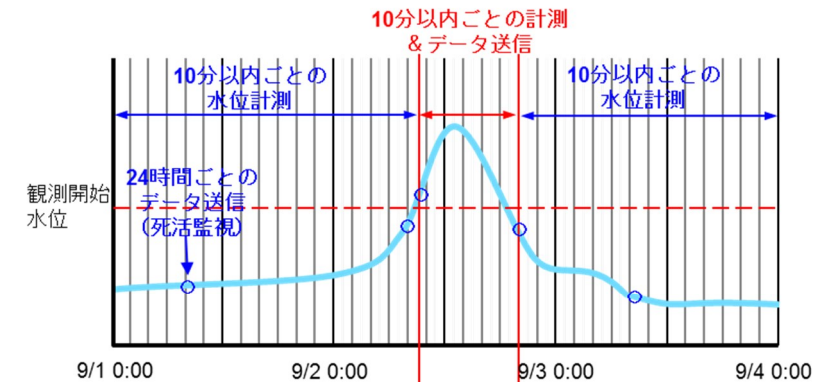
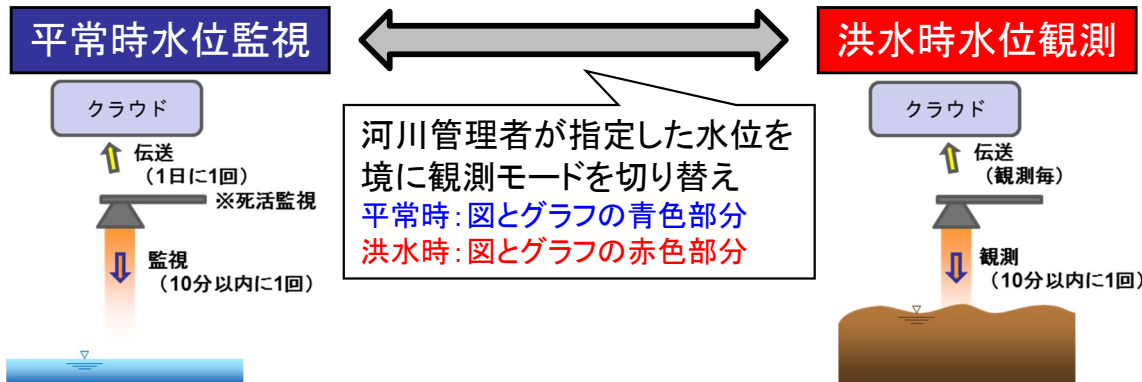
堤防に設置するタイプ
(ケーブル(計測器)を河川に入れて計測)



橋梁に設置するタイプ
(電波や超音波で河川に触れずに計測)

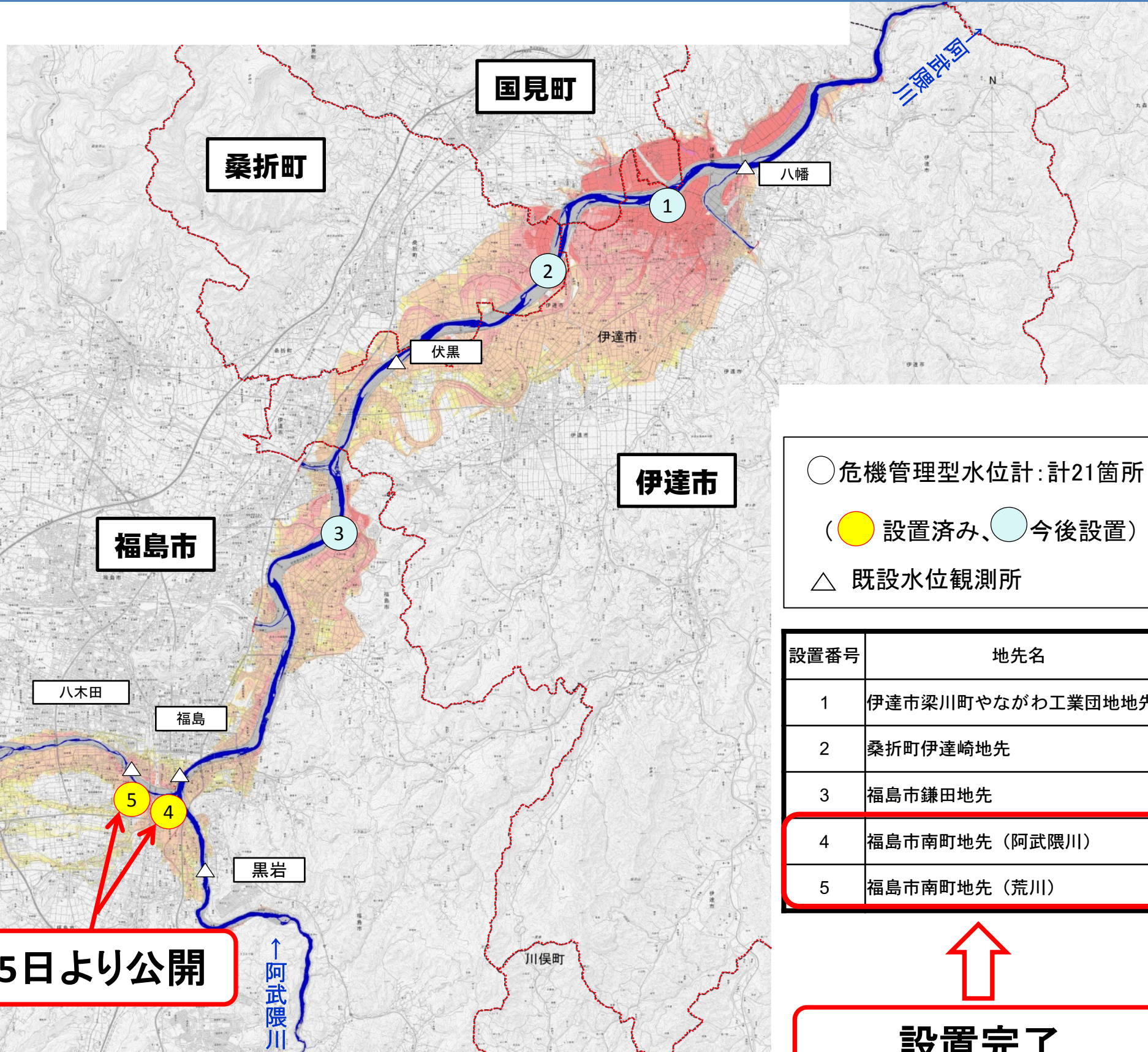
【水位観測方法】

一定の水位を超過した時に観測モードを切り替え、10分以内毎に水位データを送信。水位データはクラウドで閲覧可能。



水位監視	10分以内に1回	10分以内に1回	10分以内に1回
データ送信	なし	10分以内に1回	なし
死活監視	1日に1回 ※該当時刻データのみ		1日に1回 ※該当時刻データのみ

水位計設置箇所 阿武隈川上流(1/2)



想定し得る最大規模の降雨による洪水が発生した際の想定浸水深

0.5m未満の区域
0.5~3.0m未満の区域
3.0~5.0m未満の区域
5.0~10.0m未満の区域
10.0~20.0m未満の区域

○ 危機管理型水位計: 計21箇所
 (● 設置済み、● 今後設置)
 △ 既設水位観測所

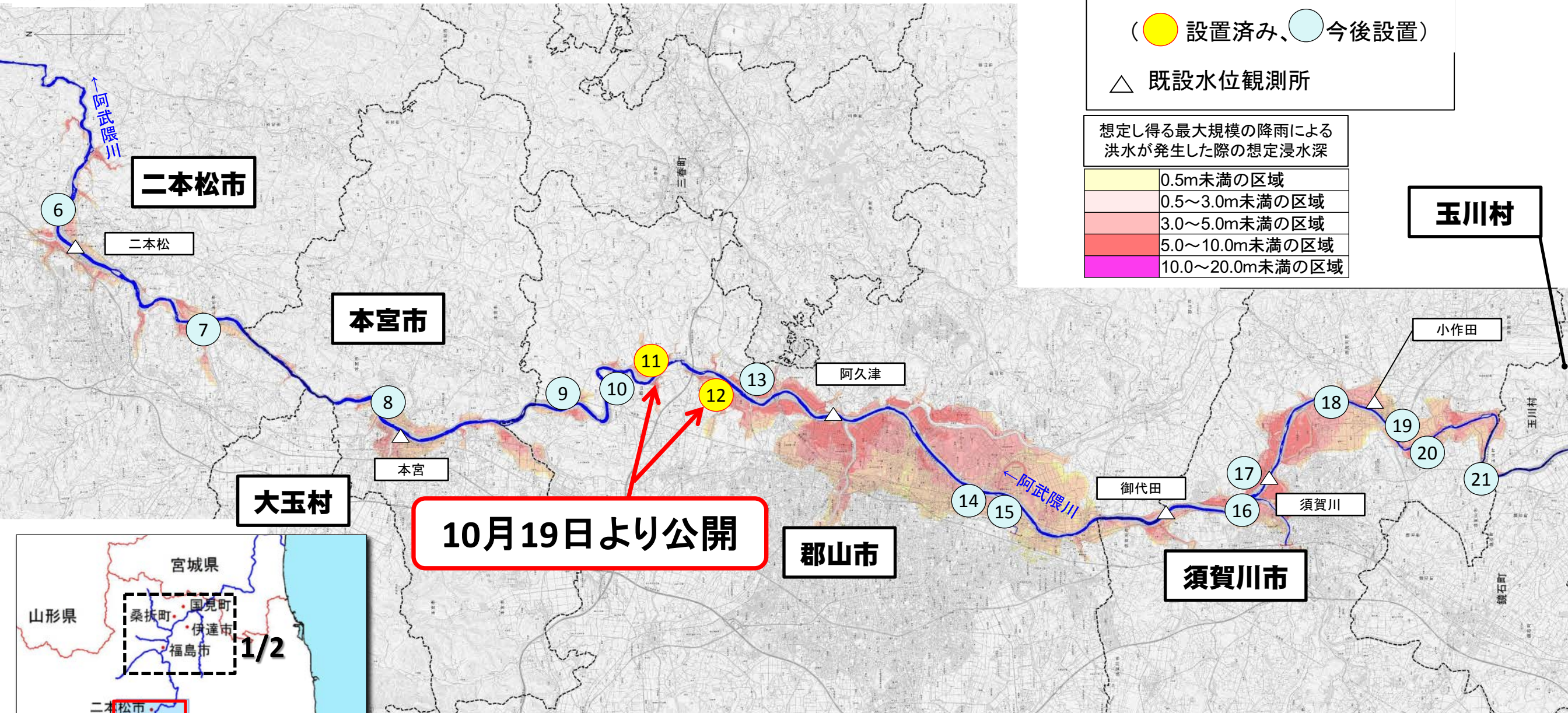
設置番号	地先名
1	伊達市梁川町やながわ工業団地地先
2	桑折町伊達崎地先
3	福島市鎌田地先
4	福島市南町地先 (阿武隈川)
5	福島市南町地先 (荒川)

10月15日より公開

設置完了

※設置箇所は現地条件等により、設置する地先が変わる場合もあります

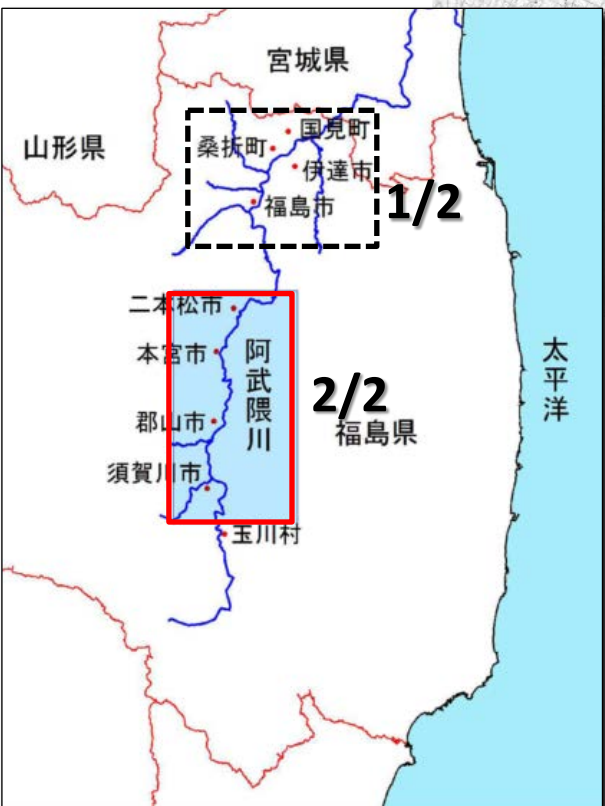
水位計設置箇所 阿武隈川上流(2/2)



- 危機管理型水位計: 計21箇所
- (● 設置済み、● 今後設置)
- △ 既設水位観測所

想定し得る最大規模の降雨による洪水が発生した際の想定浸水深

0.5m未満の区域
0.5~3.0m未満の区域
3.0~5.0m未満の区域
5.0~10.0m未満の区域
10.0~20.0m未満の区域



設置完了

設置番号	地先名	設置番号	地先名	設置番号	地先名	設置番号	地先名
6	二本松市矢ノ戸地先	10	郡山市西田町鬼生地先	14	郡山市安積町日出山地先	18	須賀川市浜尾地先
7	二本松市北トロミ地先	11	郡山市西田町黒田地先	15	郡山市安積町日出山地先	19	須賀川市市野関地先
8	本宮市高木地先	12	郡山市富久山町堂坂地先	16	須賀川市森宿地先	20	須賀川市前田川地先
9	郡山市西田町鬼生地先	13	郡山市富久山町北小泉地先	17	須賀川市中江持地先	21	玉川村竜崎地先

※設置箇所は現地条件等により、設置する地先が変わる場合があります

設置スケジュール

市町村名	設置数	設置時期
福島市	3箇所(うち2箇所設置済み)	10月中旬～10月下旬
郡山市	7箇所(うち2箇所設置済み)	10月中旬～12月中旬
須賀川市	5箇所	11月上旬～12月中旬
二本松市	2箇所	12月上旬～12月下旬
伊達市	1箇所	11月中旬
本宮市	1箇所	10月下旬
桑折町	1箇所	11月中旬
玉川村	1箇所	11月下旬
合計	21箇所	10月中旬～12月下旬

※ 設置状況については、福島河川国道事務所ホームページで順次お知らせいたします。
※ ただし、現地条件・天候等により、スケジュールが変更となる場合があります。

「川の水位情報」と「川の防災情報」の統合表示の本運用を開始

「川の水位情報」に「川の防災情報」に表示されている通常水位計の水位データと河川カメラの画像を統合表示しました。

➡ アクセスはこちらから <https://k.river.go.jp/> (パソコン・スマートフォン共通)



■ 3つの追加機能

①危機管理型水位計に加え、通常水位計や河川カメラが同一画面に表示されます。



②リアルタイムの河川水位に対応して表示の色が変化し、危険度がわかります。



③河川カメラのアイコンを選択することで河川の状況が簡単にみられます。

